

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 三重大学教育学部附属中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒514-0062  
三重県津市観音寺町471

E-mail : vh-fuchu@fuzoku.edu.mie-u.ac.jp

Website : http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/chu/

児童生徒数：男子 211名 女子 216名 合計 427名  
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ○ 国際理解

姉妹校提携を結んでいる天津実験中学校（中国）との交流を行っている。本年度については、天津から生徒・教職員を招く形での交流を行った。中国語が堪能な生徒の司会進行による全校集会（双方の学校生活の紹介）や授業参加（調理実習での和菓子作り）等を通じて、日中双方の暮らし・学校生活についての理解を深める機会を得た。

### ○ 平和・人権

第3学年を対象とした沖縄への修学旅行を平和・人権学習における3ヶ年の総括として位置づけた。平和新聞作成や保護者も交えての学年集会での発表等事前学習、文化祭での朗読劇等事後学習までを含め、約1年間に渡る長期の取組を行った。

### ○ 環境・防災

第2学年を対象とした阪神方面への社会見学を実施した。20年目を迎える阪神・淡路大震災について、兵庫県の北淡震災記念公園や人と防災未来センターを見学し、現地の方々の声を聴かせていただいた。

### ○ 防災

「地域とのつながり」や「未来とのつながり」を意識した、人を育てるための震災学習として、全校生徒並びに保護者・附属校職員を対象にした震災学習講演会を開催した。

講師：福島県飯舘村長 菅野 典雄 先生

テーマ：「東日本大震災を経験された方々から学ぶ  
～私たちのこれからの暮らしについて考える～」

### ○ 食育

委員会活動（保健活動部）及び家庭科の授業での取組が中心である。学校給食におけるリクエスト献立（地域の食材を活用したメニュー）の導入、県主催の朝食メニューコンクールや歯科医師会主催のかむかむクッキングコンクールへの参加、附属幼稚園訪問での幼児との共同調理等従来から取り組んできたものに加え、熱中症予防のための献立提案を全校集会の場で行った。

### ○ FGS（附属チャレンジスクール）の取組

震災学習講演会にて講師先生からいただいた「人としていかに生きるか？」という大きな課題に対し、生徒らは「明日の三重」の担い手は自分たちであるということ、「よりよい明日の三重」を築いていくためにできることを考え、行動することの大切さに気づくことができた。本事業は、こ

の気づきを具現化するものとして位置付けた生徒の自主的な活動を指す。

1年目にあたる本年度は、三重の歴史、食文化、医療に注目し、大学教員等専門家の知見を得ながら仲間と協力して課題の解決に取り組むことができた。概ね土曜日の活動であったが、大学関係者や保護者の協力が得られた点は大きい。活動の成果は、文化祭や三重大主催のESD壁新聞コンクールでの発表につなげた。

なお、本事業はキャリア教育推進の一端をも担うものである。岡山県で開催されたユネスコスクール全国大会において、ポスター発表という形で全国に発信させていただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（委員会活動の場）